

## 施策75 良好なまちなみ景観の形成

### 施策における目標

景観形成の主体である市民・事業者・行政が協働し、良好なまちなみ景観を形成し、それぞれの地域において、まちの将来の景観像を共有するよう努めます。

### 施策概要

景観形成の主体である市民や事業者と協働し、「都市景観基本計画」を推進するとともに都市景観条例の改定により景観法の活用と併せて効果的な仕組みづくり及び適切な運用を行うほか、市民主体の景観形成を支援。

### 想定される主な取り組み

・市民活動団体や業界関連団体等と連携し、改訂される「都市景観基本計画」や景観法を始めとする新しい制度の内容について市民や事業者に向けた周知・啓発を行う。  
 ・景観法を始めとする新しい制度を適切に運用していくため、建築行為前の事前協議やアドバイザー制度の拡充を図る。また、過度の私権制限とならないように審査会等での検討を行う。

### 第2期実施計画における総評

・かやの中央(箕面新都心)のまちびらきや、高層住宅や商業・遊戯施設の建築など、比較的大きなまちなみの変化が続く、こうした目に見える大きな変化をきっかけに、市民の中で「景観」が身近な問題として捉えられつつある。しかし、「景観は行政による法規制の運用によってつくられる」という考え方もまだまだ多く、市民や事業者自らが景観形成の主体であることを啓発していく必要がある。それぞれの主体の役割分担に応じた景観形成を進めていくことが必要である。

## 施策76 行政情報の提供

### 施策における目標

行政情報を適切にわかりやすく市民に提供することで、行政への理解を深め、行政に関心を持つ市民の増加をめざします。

### 施策概要

広報紙もみじだより・市ホームページ・コミュニティFM放送(タッキー816)などによる行政情報の提供。

### 想定される主な取り組み

・広報紙は、情報提供の核として、見やすさ、読みやすさに配慮し、市民が興味を持つ紙面作りを行う。  
 ・JIS規格に沿ったアクセシビリティに配慮したホームページづくりを行う。また、ホームページのリニューアルから3年が経過し、情報量も飛躍的に増加していることから、デザインなどの見直しを検討する。  
 ・ホームページの情報量や更新頻度を上げ、情報提供の充実を図る。  
 ・コミュニティFM放送(タッキー816)において、地域密着型のラジオの特性を生かしながら、市民に迅速・的確な情報提供を行う。

### 第2期実施計画における総評

・広報紙を読んでいる市民の割合は7割前後で推移している。最も身近な情報源として、今後も見やすさ、読みやすさに配慮しながら紙面作りをしていく必要がある。また、市民が興味・関心を持つような記事、紙面作りに努めていく。  
 ・市のホームページへのアクセス件数は増加傾向にあり、今後、誰もが閲覧しやすく、必要な情報が取り出しやすいページ作りが求められる。  
 ・コミュニティFM放送(タッキー816)についても、市民が興味を持つような提供番組作りや地域密着型で迅速な情報提供ができる取り組みも必要である。